

ファイザー文書の徹底検閲から、コロナによる大量人口削減計画が発覚

5年計画で始まった大量人口削減は2025年に完成する予定

<https://www.infowars.com/posts/heavily-censored-pfizer-documents-show-covid-began-five-year-mass-depopulation-agenda-that-will-reach-completion-by-2025/>

Ethan Huff | NaturalNews.com

December 29, 2023

やがてジェノサイドの形でこの世界に何が起ころうとしているかについて、言われていた驚くべき予言が、この恥知らずのファイザーの文書によって事実だったと判明。これは2020年から始まり、2025年までに世界の大規模人口削減を計画する、5年計画の詳細を語るものである。<https://www.infowars.com/posts/heavily-censored-pfizer-documents-show-covid-began-five-year-mass-depopulation-agenda-that-will-reach-completion-by-2025/>

ファイザーがFDA（米食品医薬品局）に提出した機密文書において、Deagel社（グローバルな情報コンサルタント会社）作製のこの予想が述べられている。それは2025年を、武漢発のコロナ・ウィルス（COVID-19）“ワクチン”接種による大量人間抹殺が、明かになる年として指摘している。

アメリカの軍事情報の小さな部局であるDeagel社は、秘密のベールに隠れて事を行っており、データや他の情報を収集しながら、この軍-産共同事業全体にわたって、高レベルの意思決定を目標として活動している。

Deagelは、国家安全保障局（NSA）とか国連（UN）とか世界銀行（World Bank）のような名前を使って仕事をしている。それはまた北朝鮮について、Stratfor 報告にも貢献していた。

このためにDeagelは、情報共同体の一員として合法的な役を果たしているように見える。言い換えると、Deagel社は、根拠なしに恐怖をばら撒く、ニセ情報機関だとは思えないであろう。

「どういう意味かという、その 2025 年についての人口予言や、その国家ごとの産業生産予言は、単なる空想ではなく、それどころか戦略的な想定に基づいていて、情報共同体の他のプレーヤーたちに共有され、よく理解されているということだ」と *The Exposé* は報告している。

(関連情報：知っていましたか、CIA が、Deagel の ショッキングな 2025 人口削減予報の背後にあること、それは予想値とか予言でなく 目標であることを?)

<https://www.naturalnews.com/2023-08-08-cia-behind-deagels-shocking-2025-depopulation-forecast.html>

世界はどのようにしてこうなったか？

2020 年のどのあたりからか、Deagel は 2025 年予想をそのウェブサイトから除去した。しかし、Wayback Machine や Internet Archive には、まだそれが載っている。

<https://web.archive.org/web/20200629112402/http://www.deagel.com/country/forecast.aspx>

あなたはアーカイブの報告から、Deagel が、英国の人口は 2025 年には 77.1 パーセントだけ減少すると予想しているのに気づくだろう。ほんの 2 年という短期間に、大量の人々が死ぬと予想されている。アメリカについて言えば、2025 年までに人口が 68.5 パーセント減少すると Deagel は予測している。

ドイツでは、その人口は 2025 年の終わりまでに、65.1 パーセント減少すると予想され、またオーストラリアでは、2025 年までに 36.5 パーセントの人口減が予想されている。世界中で 2025 年に予想される人口減すべての、完全なリストがある。

<https://nobulart.com/deagel-2025-forecast-resurrected/>

「悲しいことに、内密のファイザー文書は、驚愕すべき数の子どもの死亡数と相俟って、Deagel の人口削減の数値は、予想数というだけでなく 目標数なのだ」と、「エクスPOSE」は報告している。

これが FDA の取った悪辣な策略の、理由の一つだったと推測できる。FDA は、その存在を支えているアメリカの納税者の利益とは逆に、ファイザーの利益のために行動し、ファイザー文書の発表を 75 年間も引き延ばす策をとっていた。なぜかという、その時分には、生きて COVID を覚えている者はおらぬはずで、ましてや、現在予定されている 2025 大量人間抹殺のことなど、覚えてはいないはずだと考えたからである。

ファイザー文書は、その時以来、遅れて発表されるスケジュールの一つとなったが、それは連邦裁判官の Mark Pittman のおかげであり、当時彼は、FDA に対し、この文書を月に 5 万 5,000 ページずつ発表することを命じていた。

現時点で、この文書のすべては PHMPT ウェブサイトで利用可能である。

<https://phmpt.org/pfizers-documents/>

「いったいなぜ我々が、我々の政治システムを、最も富裕な者たちにハイジャックさせ、指図することを許したのか、ただ私は不思議なのだ」と、〈なぜ世界がこの時点でこうなったのか〉に関心をもつあるコメンターは書いた。

「これがどこから来たのかは非常に明らかだ——その基となった、混乱して精神病的に神経質な精神構造と、そのすべてを可能にした組織の両方だ。しかし悪いのは異常な精神だけではない。我々のすべてが悪いであり、我々の一人ひとりが、そのような絶対的に狂ったシステムを目にしなが、我々の生活をその乱れた「秩序」に合わせているのだ。

COVID 人口削減アジェンダは、いま順調に行われている。大量人間抹殺ニュースでもっと多くを知っていただきたい。<http://genocide.news/>

GENOCIDE.NEWS——

平均余命の研究：ワクチン接種が人間の歴史で、最大の悪の一つであることを暴露

Infowars：——

COVID ワクチンの背後のショッキングな真実：5 万 2,500 人の英人が、2022 年の 8 か月以内にワクチン接種のために突然死

<https://www.infowars.com/posts/shocking-truth-behind-covid-vaccines-52-5k-brits-died-suddenly-in-8-months-in-2022-due-to-vaccination/>

ワクチンの副作用？ スイスの健康保険会社のデータが示す：2020 年以降、癌治療を受けた人々が 73% の増加

<https://www.infowars.com/posts/vaccine-side-effect-swiss-health-insurers-data-shows-73-increase-in-people-receiving-cancer-treatment-since-2020/>

研究：ほとんどのファイザーCovid 注射による死亡が、注射の 10 日以内に起こる—— ワクチンと死亡率の因果関係が証明される

<https://www.infowars.com/posts/study-most-pfizer-covid-jab-deaths-occur-within-first-10-days-of-injection-proving-causal-relationships-between-vaccines-and-fatalities/>

[訳者 Greatchain 注]

ここでは恐ろしいことが暴露されている。いわゆるワクチンではない実験的「ワクチン」を注射する、対パンデミック治療法が、その危険性と現実に実証された副作用を、これまで世界的に指摘されていたが、疑われた通り、それは 意図的に大量人間抹殺を狙って、何年も前から計画されていた計略であったことが明らかになった。

これは FDA というアメリカの最高保険責任者と、ファイザーという権威ある製薬業者の間で決めたことだが、その間に入って巧妙に手回しする者を通じて、自然に発生した出来事のように、一般にはわからないようになっていた。

日本とアメリカは通じ合っていて、陰の事情は基本的に同じだと思われる。かつての政府の一億総ワクチンとも言うべき、常軌を逸したやり方に我々は驚いたが、そのような背後の事情があったものと、今にして想像することができる。

わが国では、どんな恐ろしい事が起ころうが、どんなに大勢の人間が死に、または廃人となろうが、これまで通り、表面上何も起こらないのだろうか？ それとも、もうこれ以上黙っていることはできないと、暴動が起こるだろうか？ 想像することができない。彼ら犯罪者たちが言っているのは、2025 年までにジェノサイド計画の区切りをつける、ということであろうから、うまくやる自信があるのかもしれない。どうなるにせよ、「ワクチン」だけでなく、予測しなかった相当の殺しの計画を、彼らは用意していると覚悟しなければならぬだろう。